

ザ・シックスティーン

ハリー・クリストファーズ 指揮

2025 11.23 (日)

15:00開演(14:15開場)

パレストリーナ生誕500年記念

イギリスが世界に誇る合唱団、21年ぶりの来日!

©Johnny Millar

青山音楽記念館
バロックザール



The
Sixteen
HARRY CHRISTOPHERS

入場料

一般5,000円(全指定席・税込)

チケット発売:2025年7月3日(木)12:00より

※チケット発売初日はバロックザール・オンラインチケットのみ取り扱い。

※翌日以降に残席がある場合は窓口販売あり。

※本公演はお電話での取り扱いはございませんので予めご了承ください。

当日学生券1,500円(全指定席・税込) ※要学生証

※公演当日に残席がある場合は、開場時間よりバロックザール窓口で販売します。
お電話またはHPにて発売情報をご確認の上、お越しください。

(事前の電話予約は出来ません。)

チケット購入方法

バロックザール・オンラインチケットにて販売 ※オンライン購入には会員登録が必要です。

お問い合わせ 青山音楽記念館 バロックザール

Tel.075-393-0011 受付=9:30~18:00(月・火/休館)

夏期休館:2025年8月12日(火)~19日(火)

主催 公益財団法人青山音楽財団

※やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

※一度のお申込につき購入いただけるチケット枚数は4枚までとさせていただきます。

※お買い求めいただいたチケットのキャンセル・変更等はいたしかねます。予めご了承ください。

※会場での録音・録画・写真撮影は固くお断りします。

※当公演のチケットは「特定興行入場券」です。定価を超える金額での転売は禁止されています。

※感染症対策のため咳エチケットにご協力ください。



The Sixteen

HARRY CHRISTOPHERS

バロックザールでお贈りしている“バッソ・コンティヌオ”シリーズに、世界的な声楽アンサンブルの雄、ザ・シックスティーンをお迎えできますこと、大変嬉しく存じます。

ザ・シックスティーンは、指揮者のハリー・クリストファーズが創設し1979年にデビューしたイギリスの団体で、中世・ルネサンス音楽に加え、時代を超える多様な合唱作品を、温かく調和した響き、正確なリズム、完璧な音程という高い水準で演奏し、聴衆に深い感動を与えてきました。

今回はパレストリーナ生誕500年を記念した公演です。聖書に記されている力強い言葉に対して作曲された旋律の数々は、時に荘厳に、時に内省的であり、輝きに満ちあふれています。磨き抜かれたポリフォニー、すなわち多声音楽が、聴く者に希望と平安をもたらすでしょう。“バッソ・コンティヌオ”シリーズの掉尾を飾る、精緻を極める公演をどうぞお聴き逃しなく！

鈴木優人

“バッソ・コンティヌオ”
シリーズ

古典に限らず全ての音楽の土台となる“バッソ・コンティヌオ”(通奏低音)。
低音の上に即興で奏でられる豊かな通奏低音の響きのように、バロック音楽を礎に
クラシック音楽の楽しみ方が広がる、鈴木優人企画監修によるシリーズです。

■ザ・シックスティーン(合唱)

The Sixteen (Chorus)

シンプルなかの賛美歌から音楽的に複雑かつエモーショナルな現代の合唱曲にいたるまで、調和のとれた暖かさ、正確なリズム、かつ完璧な音程で、非常に高いクオリティで歌う。彼らの音楽に対峙する勇気や情熱は多くの人々を惹きつけてきた。1979年に創設者であり指揮者であるハリー・クリストファーズと最初のコンサートを行ってから45年以上にわたり、合唱のバイオニアとして多大な影響を与えてきた。また「ザ・ヴォイス・オブ・クラシックFM」、あるいはBBCテレビの「宗教音楽」シリーズを通じ、多くの新しい聴衆たちを魅了してきている。ザ・シックスティーンの歌手たち、そして器楽奏者たちは5世紀以上にまたがる音楽に精通している。広範な知識を手に、イギリスの主要な大聖堂や教会などを毎年「合唱巡礼」と称して巡るのみならず、世界有数のコンサートホールに定期的に出演し、自分たちのレーベルCOROやそのほかのレーベルから数多くの録音をリリースし、様々な賞を受賞してきた。最近の主な活動として、ジェームズ・マクミラン作曲《スターバト・マーテル》の世界初演(2016年バービカンセンター)。2018年にはシステリーナ礼拝堂からのライブ配信も行った)、おなじくマクミラン作曲の交響曲第5番《ル・グランタンコニユ》(2019年エジンバラ国際音楽祭にて。ニューヨークのリンカーンセンターでも演奏された)などがある。これらはいずれもハリー・クリストファーズとザ・シックスティーンのため、ジェネシス財団によって委嘱されたものだ。またヘンデルのオラトリオ、アメリカやオランダへのツアー、俳優のサー・サイモン・ラッセル・ピールも参加した「コーラル・オデッセイ」という特別なオンライン番組シリーズもある。

■ハリー・クリストファーズ(指揮)

Harry Christophers (Conductor)

現代の合唱界を代表する偉大な指揮者のひとり。ザ・シックスティーンとの長年のパートナーシップにより、中世後期のポリフォニーから現代音楽の重要な新作にいたるあらゆるジャンルの演奏において、ベンチマークとなる基準を打ち立ててきた。クリストファーズの指揮のもとザ・シックスティーンは毎年「合唱の巡礼」を大成功させ、BBCテレビの「宗教音楽」シリーズを制作し、高い評価を得るピリオドオーケストラも育ててきた。近年の主立った活動としてウィグモア・ホール・レジデンシー、モンテヴェルディ《聖母マリアのタベの祈り》の大規模なツアー、2019年のエジンバラ国際音楽祭におけるジェームズ・マクミランの交響曲第5番世界初演、またおなじくマクミランの《スターバト・マーテル》の、システリーナ礼拝堂からのライブ配信、アメリカとオランダへの大規模なツアー、および「合唱の巡礼」2024ツアーなどがある。2008年から2022年までヘンデル&ハイドン・ソサエティの芸術監督を務め、現在は桂冠指揮者を務めている。ロンドン交響楽団、BBCフィルハーモニー、サンフランシスコ交響楽団、ドイツ・カンマーフィルなどに客演している。またオペラにも深く関わっており、イングリッシュ・ナショナル・オペラやリスボンの歌劇場で指揮したのみならず、グラナダ、バクストン、グランジ音楽祭などでも活躍している。2019年にはザ・シックスティーンの40周年を記念しBBCラジオ3のプレゼンター、サラ・モーア=ピーチとの共著で『A New Heaven: Choral Conversations』を出版した。2012年には大英帝国勲章(CBE)を受章。オックスフォード大学マグダレン・カレッジ、王立ウェールズ音楽演劇大学の名誉フェローであり、レスター大学、ノーサンブリア大学、カンタベリー・クライスト・チャーチ大学、ケント大学から名誉音楽博士号を授与されている。

Program

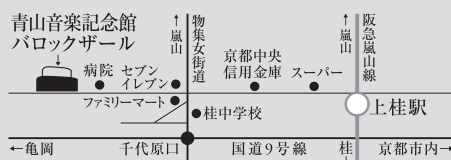
音楽の 祝福された光

ーパレストリーナ生誕500年、
そしてアルヴォ・ペルト
生誕90年を祝してー

・パレストリーナ :『キリエ』ミサ曲《兄弟たちよ、わたしは主から受けたことを》より
:『グロリア』ミサ曲《兄弟たちよ、わたしは主から受けたことを》より
・アルヴォ・ペルト :主よ、平和を与えたまえ
・パレストリーナ :『わが愛する者よ、立つて』《ソロモンの雅歌》より 第16番
・ジェームズ・マクミラン :『その手を差し伸べ』《ストラスクライドのモテット集》より
・パレストリーナ :『わたしは今起きて、町をまわり歩き』《ソロモンの雅歌》より 第18番
:『大いに尊敬されるべきは』
:『スターバト・マーテル』

* * *

・パレストリーナ :『クレド』ミサ曲《ドレミファソラ》(ヘクサコルド・ミサ)より
:『わたしは自分のぶどう園を守らなかった』《ソロモンの雅歌》より 第4番
・ジェームズ・マクミラン :『とこしえの王として、主は御座をおく』《ストラスクライドのモテット集》より
・パレストリーナ :『あなたのほおは美しく飾られ』《ソロモンの雅歌》より 第6番
・アルヴォ・ペルト :『カエサルを讃えて』
・パレストリーナ :『わたしたちはこれらの町が受けた苦難のことを聞き』
:『アニヌス・デイ I & II』ミサ曲《ドレミファソラ》(ヘクサコルド・ミサ)より



阪急電車嵐山線「上桂」駅下車西へ300メートル
ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

バロックザール
Barocksaal
京都 青山音楽記念館

お問い合わせ: tel. 075-393-0011 9:30~18:00 月・休館
〒615-8282 京都市西京区松尾大町9-1 <https://barocksaal.com/>